



## 個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。今週号は2021(令和3)年3月1日(月)から7日(日)までの1週間。計2枚。**赤字は重要ニュース**。詳細は厚生労働省や関係団体のウェブサイトなどで確認してください。「推進協ウェブサイト」で過去分を読めます。

### ■ワクチン接種者が死亡 因果関係は評価不能(3月2日)

厚労省は新型コロナウイルスワクチンの接種後、1例の死亡例が報告されたと発表した。亡くなったのは30代の女性で2月26日に接種。死因はクモ膜下出血で接種との因果関係は評価できないという。

### ■来年度予算案 衆院を通過 年度内の成立確実(3月2日)

新型コロナウイルス感染の拡大防止やポストコロナの経済対策などを盛り込んだ2021(令和3)年度予算案が衆議院本会議で可決され、参議院に送付された。憲法の規定(衆院の予算案優先議決)で今年度内の成立が確実となった。一般会計は106兆6097億円で過去最大規模。

### ■在宅系も優先接種へ 厚労省が方針転換(3月3日)

厚労省は在宅系サービス(居宅介護支援、福祉用具貸与、通所介護)の介護職員についても新型コロナウイルスワクチンの優先接種対象に含める方針に改め、関係自治体に通知した。これまで優先は施設系と居住系に限定していた。与党や介護団体から批判が出ていた。市町村への事前登録が必要。

### ■生活保護申請 前年より1672件増加 コロナが影響(3月3日)

厚労省の2020(令和2)年の生活保護申請件数集計によると、22万3622件で前年より1672件増えた。集計を開始した13年から前年まで減少傾向が続いていた。受給者世帯数は163万8124世帯。新型コロナウイルス感染拡大による雇用の悪化などが影響したとみている。

### ■医療職いなくても唾液検体が可能 介護施設など(3月3日)

厚労省は介護施設などで行われている唾液検体の採取について医師や看護師が居なくても採取できることを関係自治体に通知した。介護施設などでの集中検査を急ぐ狙い。

## ■初のアナフィラキシー報告 厚労省が原因調査へ（3月5日）

厚労省は新型コロナウイルスワクチン接種でアナフィラキシー事例が報告されたと発表した。30代の女性医療従事者。接種後、咳が出て呼吸が早まり、瞼が腫れたり、全身にかゆみを覚えたりしたが、手当を受けて回復したという。厚労省は「接種と関係がある可能性が高い」として詳しく調べている。女性には喘息や甲状腺機能低下症の持病があった。

## ■1都3県の緊急事態を再延長 21日まで 介護施設の検査拡充（3月5日）

菅首相は東京、神奈川、埼玉、千葉の緊急事態宣言（3月7日まで）を21日まで2週間延長すると発表した。感染状況（病床使用率や新規感染者数）の改善が遅れていることや、リバウンドを防ぐためと説明した。無症状の陽性者を突きとめるため1日1万件を目標にPCR検査を拡充。特に高齢者施設のクラスター発生を防ぐため3月末までに約3万施設の検査を実施する。1都3県知事はテレビ会議で飲食店などへの営業時間短縮の継続を要請することなどを確認した。